

終日装用ソフトコンタクトレンズの装用の手引き

この手引きについて

この手引きは、アイミー(株)のソフトコンタクトレンズを正しく装用する上で、知っていただきたい情報を詳しく解説しているものであり、各製品の使用方法を網羅するものではありません。レンズをご使用の際には、コンタクトレンズの添付文書とケア用品の記載事項をよく読み、表現や内容でわからないことがあれば、アイミーコール(お客様相談窓口)へお問い合わせいただき、確認してから使用してください。各製品の添付文書、ケア用品の使用説明書や表示事項等は必要な時に読めるように保管してください。

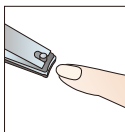
お問い合わせ先

アイミーコール(お客様相談窓口) 0120-131-469

受付時間：9：00～17：00(土日祝日を除く) オフィシャルサイト <https://aime.jp>

1. レンズを取扱う前に・・・

●爪を短く切り、丸く滑らかにしてください。



●必ず手を洗淨してください。

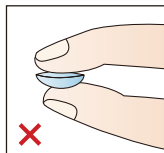
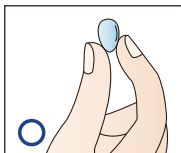


2. レンズの取扱い方法

【レンズの持ち方】

レンズは、フロント側の周辺部を軽くつまむように持ってください。

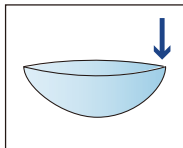
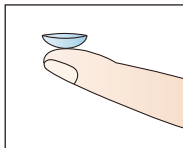
レンズのベース面を持たないでください。



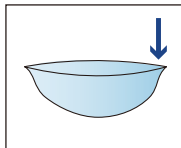
【レンズの表裏の見分け方】

レンズを利き手の人差し指にのせて、横から周辺部の形状を観察してください。

表裏が正しい場合は先端部分が丸く、裏返しの場合は先端部分がややシャープになります。



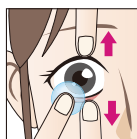
正常



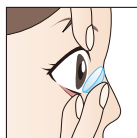
裏返し

3. レンズのつけ方 ※レンズを取扱う前に必ず手をせっけんでよく洗ってください。

- ① **レンズの左右を確認してください。**
レンズの左右を入れ間違えると、異物感、眼が疲れる、見えにくいなどの症状の原因になります。左右を間違えないように、いつも同じ側(右または左)のレンズから取扱うことをおすすめします。
- ② **レンズに汚れがないことを確認してください。**
汚れなどが付いている場合は、指定されたケア用品によるすすぎを行ってください。洗浄しても汚れが落ちない場合や傷がついている場合は、レンズを装着せずに、眼科医に相談してください。
- ③ レンズを持ったほうの手の中指で下まぶたを下げ、もう一方の中指で上まぶたを上げて目を大きく開けます。



- ④ 鏡を見ながらレンズを黒目にのせます。
- ⑤ レンズが正しく黒目の上の上ののったことを確認し、下まぶたを抑えていた指から順番に離し、ゆっくりまばたきしてください。



- ⑥ 鏡を見て、レンズが黒目の上の上ののっているか、左右の見え方に違和感がないか確認してください。

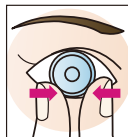
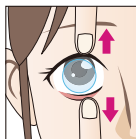
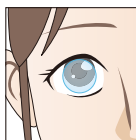


4. レンズのはずし方 ※レンズを取扱う前に必ず手をせっけんでよく洗ってください。

- ① 鏡の前でできるだけ大きく目を開けて軽く上方を見ます。
- ② 利き手の反対側の中指で上まぶたを引き上げ、利き手の中指で下まぶたを下げます。
- ③ 利き手の人差し指と親指で爪を立てずにレンズの下方を軽くつまんではずします。

※レンズの中心部は特に薄くできているため、中心部をつまむと破損することがあります。

※一度でははずれないときは、いったん指を離し、最初からやり直してください。



レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接目に触れないようにしてください。

5. レンズケア

毎日のレンズケア(洗浄・消毒・適切な保管)を怠ると、レンズに汚れが蓄積したり、カビや細菌が繁殖し、レンズの劣化を早めたり、変形・変色の原因になります。

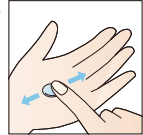
そのようなレンズを装用すると、眼に障害をおこすことがあります。

レンズを快適に使用するために、ケア用品の記載事項(パッケージや使用説明書)をよく読み、使用方法に従って、必ず毎日レンズケアを行って下さい。

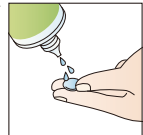
<レンズの洗浄・すすぎを行うときの注意事項>

爪を立てないように注意し、人さし指の腹で一定方向に前後させながらゆっくりこするように洗ってください。

※この時、円を描くようにこするとレンズがたわんで、破損の原因になります。



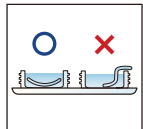
レンズをすすぎ洗いは、親指、人さし指、中指の3本の指でレンズを持ち、レンズの凹面が親指側になるようにして、親指の腹ですすぎ洗いしてください。



<保存ケースを使用する場合の注意事項>

レンズがケースの中央で保存液に沈んでいることを確認してください。

フタをしめるときにレンズをケースにはさんだり、爪を立ててレンズを取り出したりすると破損の原因になります。

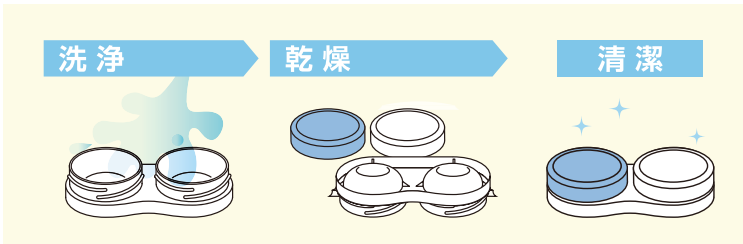


<保存ケースを取扱うときの注意>

レンズをきれいにしているにもかかわらず、保存ケースが汚れていると、レンズも汚れてしまいます。

保存液は毎日新しく交換し、その都度、保存ケースを洗浄・乾燥させましょう。

新しいソフトレンズ用消毒剤を開封する際に、付属の新しい保存ケースへ交換しましょう。



※レンズを絶対に乾燥させないでください。

レンズが乾燥すると、変形して使用できなくなったり、レンズの破損へつながります。

※レンズに付着する汚れには個人差があります。通常のケアを行っていてもレンズが汚れやすいと感じる場合には、眼やレンズの状態を確認するため、眼科医に相談してください。レンズの汚れについては眼科医の指示に従って適切なレンズケアを行ってください。

【レンズの長期保存について】

- レンズ装用を長期間中止する場合は、レンズの保存方法について必ず眼科医に相談してください。
- レンズ装用を再開する場合も、眼やレンズの状態を確認するため、必ず眼科医に相談してください。

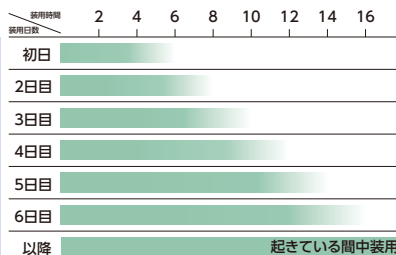
6. レンズを汚れから防ぐために

- レンズ装用中に点眼薬を使用する場合の注意事項
点眼薬の成分によっては、レンズに影響を及ぼす可能性があります。
眼科医から処方された点眼薬以外の、市販のソフトコンタクトレンズ用点眼薬を使用する場合は記載事項をよくお読みください。
防腐剤の入っていない人工涙液タイプの点眼薬をおすすめします。
- 顔周りの肌のお手入れや、お化粧品は、手を洗ってレンズのつけはずしを行った後にしてください。
化粧品(化粧水、乳液等の基礎化粧品も含む)、日焼け止め、整髪料、のり、クリーム等が手指を介してレンズに付着すると、変形や汚損の原因になることがあります。これらのものが手指についた場合は、よく洗い落としてからレンズを取扱ってください。



7. 装用スケジュール

- 終日装用レンズは起きている間中装用が可能ですが、無理な装用は角膜に負担をかけ、眼障害が発生する可能性があります。
- 寝る前にはコンタクトレンズをはずしてください。
- レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。



【装用の再開について】

眼障害のために装用を中止した場合は、必ず眼科医の指示に従い、再装用の許可が出てから再開してください。

眼障害以外の何らかの事情により装用を中止した場合、中止期間が1週間未満は、再開後の1日目の装用時間を通常装用時より6時間程度減らして、徐々に慣らしながら装用を再開してください。

1週間以上装用をしなかった場合は、眼科医の指示に従った装用スケジュールで再開してください。

1か月以上装用を中断した場合は、装用する前に、眼科医による眼とレンズの再検査を受けてから装用を開始してください。

8. 定期検査

調子よく装用していても、レンズにキズや汚れがついていたり、眼に合わなくなっていたり、気がつかないうちに眼に障害を起こして危険な状態になる場合もあります。あなたの眼の健康の維持とコンタクトレンズを毎日快適に使用していただくために、指示された定期検査は必ず受けてください。